

コース番号	開催会場	研修コース名	研修内容	実施形態	講師<所属>	定員	実施回数	研修日程	受講登録
-------	------	--------	------	------	--------	----	------	------	------

### ■3 生産・品質 ■



40	盛岡	<b>NEW</b> ISO9001/14001基礎	企業の事業活動(本来業務)とISO9001/14001規格要求事項の関係を理解し、事業活動に規格要求事項を統合した「統合マネジメントシステム」の構築、運用の基礎について学びます。 【対象者】ISO9001/ISO14001の統合内部監査員を目指す方。統合マネジメントシステムの構築、運用を推進する方、部門長。ISO9001/14001規格要求事項を学びたい方。	講義		30	1	5/30. 31	盛岡
41	盛岡	I S O 9 0 0 1 内 部 監 査 員 養 成	パフォーマンスの向上や品質マネジメントシステム/プロセスの改善に役立つ、内部品質監査の視点と監査の方法について学びます。 【対象者】品質マネジメントシステムの構築に携わっている方、企業内でISO9001の内部品質監査員として活躍やレベルアップを目指す方	講義	千田 守 〈日本品質保証機構 ISO東北事務所〉	30	1	7/2. 3	盛岡
42	水沢					30	1	6/4. 5	水沢
43	宮古					20	1	10/10. 11	宮古
44	盛岡	I S O 1 4 0 0 1 内 部 監 査 員 養 成	ISO14001要求事項と内部環境監査の方法をケーススタディ等を通じて理解し、内部環境監査員としての能力を備える基礎とします。 【対象者】環境マネジメントシステムの構築に携わっている方、及び企業内で内部環境監査員として活躍することを目指す方	講義	齋藤 一郎 〈JQA認定主任審査員〉	30	1	9/3. 4	盛岡
45	水沢					30	1	5/21. 22	水沢
46	宮古					20	1	9/5. 6	宮古
47	水沢	<b>NEW</b> ISO9001/14001 内 部 監 査 員 養 成	ISO9001/14001規格要求事項を事業活動に統合した統合マネジメントシステムに対する監査の視点と監査の方法について学びます。 【対象者】「ISO9001/14001基礎」を受講された方、又はISO9001/14001規格要求事項をある程度理解されている方で、ISO9001/14001の統合内部監査員を目指す方。現在ISO9001内部監査員でISO14001内部監査員の力量を身に付けたい方。	講義	千田 守 〈日本品質保証機構 ISO東北事務所〉	20	1	11/6. 7	水沢
48	盛岡	品質管理 I (基礎編)	QCの七つ道具(統計的手法)について学びます。 【対象者】品質管理を初めて学ぶ方	講義		30	1	6/27. 28	盛岡
49	水沢					20	1	9/24. 25	水沢
50	盛岡	品質管理 II (応用編)	QCの七つ道具を活用した推進、展開方法について学びます。演習課題を使い職場の改善活動への取り組み方、QC手法の効果的な適用方法について学びます。 【対象者】品質管理 I を受講した方、QC検定3~4級取得を目指す方	講義	今野 六郎 〈QCサークル上級 指導士〉	30	1	8/5. 6	盛岡
51	水沢					20	1	11/19. 20	水沢
52	盛岡	危機管理とヒューマンエラー	国際リスクマネジメント規格であるISO31000等を参考に、自然災害や大事故に備え、不祥事リスクも含めて組織等の災害危機管理の成功例や失敗例をもとに対応方法について学びます。あわせて人間系のエラーの基本理論に加えて、ポカミス対策の発想力、実践力を身につけます。 【対象者】管理者、安全担当者、現場監督者等	講義		30	1	10/1. 2	盛岡
53	水沢					20	1	6/18. 19	水沢
54	盛岡	自主保全活動とTPMの実践	TPMは「災害ゼロ」「不良ゼロ」「故障ゼロ」等、ものづくり現場のあらゆるロスを未然防止するしくみを構築する活動です。その要点について事例をもとに学びます。 【対象者】保全担当、TPM担当、管理者等	講義	小石川 紳 〈元東北佐竹TPM 推進室〉	20	1	11/12. 13	盛岡
55	盛岡	生産管理の基礎	仕事の全体像が把握でき、仕事を行ううえで前提となる基本的知識を習得し、広範囲な知識をコンパクトに学びます。 【対象者】新たに、生産に関わる業務を担当される方	講義	産業技術短期 大学校講師	20	1	8/20. 21	盛岡
56	盛岡	生産性改善の手法 (TOC基礎)	受注予測から資材手配・製造・販売・物流に至るサプライチェーンの制約条件(ボトルネック)に着目して、ドラム・バッファ・ロープ(DBR)という同期化の手法を用いて全体最適化を目指す手法(TOC)の概要を学びます。 【対象者】生産現場の管理者および生産計画関連業務の方等			10	1	12/5. 6	盛岡

《注記》

※ 最少開催人数等については、各開催担当施設にお問い合わせください。

《オンライン受講登録》

定員に達したコースは、キャンセル待ちの案内メッセージが表示されます。  
●受講をご希望の場合は、こちらのボタンから、**キャンセル待ち登録**をお願いします。

